



## 「みんなが知りたいPM2.5の疑問25」

日本エアロゾル学会  
 畠山史郎・三浦和彦 編著  
 成山堂書店，2014年5月  
 184頁，1600円（本体価格）  
 ISBN 978-4-425-51371-0

気象庁の「大気汚染気象予報業務」を始めたばかりの私に、書評の依頼が来ました。大気汚染のいわば門外漢の私が書評を書くことで、私自身の勉強になればと思い、お引き受けすることにしました。本書のタイトルに「みんなが知りたい～」とあります。この言葉に、大気汚染の専門家のみならず、ごく一般の方々の「知りたい」に応えようとする著者の意図が読み取れました。そして「～の疑問25」。著者の遊び心が見え隠れしています。なんだか、私自身の勉強になればという、いささか堅苦しい目的を忘れそうになって、本書を開くことになりました。

本書の目次を読んだとたんに、この本にはどんなことが書いてあるのかが一目でわかりました。目次の中で特に、私が知りたいことを抜き出してみましたので、ご覧ください。

### I. PM2.5とは？

- Q1 PM2.5とはそもそも何なのでしょう？  
 Q2 PM2.5とはどんな物質ですか？

### II. PM2.5の発生と輸送

- Q7 PM2.5はどこから発生しているのでしょうか？  
 Q9 北京で2013年1月に出現した非常に高い濃度のPM2.5が話題になっていますが、汚染物質の発生量が急に増えたのでしょうか？  
 Q10 2013年1月の北京と同じような状況になったことは過去にもあったのでしょうか？  
 Q11 大陸で発生したPM2.5はどのように日本に運ばれてくるのでしょうか？  
 Q12 北京での高い濃度のPM2.5に対応して、日本での濃度が増えているのでしょうか？

### III. PM2.5の影響と対策

- Q14 PM2.5を吸入することによりどのような病気になるおそれがあるのですか？  
 Q19 越境大気汚染問題を国際的に規制する京都議定書のようなものはありますか？  
 Q20 今回のようなPM2.5汚染の抜本的な対策はないのでしょうか？  
 Q21 日本の国や自治体はどのような対応や対策を行っていますか？

### IV. 光化学スモッグ・黄砂・エアロゾル

- Q22 光化学スモッグとPM2.5は関係あるのでしょうか？  
 Q23 PM2.5と同じく中国から飛んでくる黄砂とはどう違うのですか？

皆さん、興味深いと思った本なのに、いつの間にか読み進むことができなくなった経験はありませんか？正直に告白すると私にはそんなことが少なからずあったことが、いまだに「〇〇学」に関して浅学になっている原因になっているように思います。本というものの多くは、最初のページから読み始めることで理解しやすいように構成されているように思います。ただし、このことは、時間に追われてせっかちになりがちな現代人にとって時には弊害になることもあるのではないのでしょうか？本を読む側の求めるものは「今、持っている疑問を解決したい。それもなるべく速やかに正確に」があるように思います。

本書はQ&Aをベースに解説されていることで、そんな興味のある所から読み始め、そして興味深く読み進み、自然と理解が進むことができる工夫がなされています。私が読み始めたところは「Q22 光化学スモッグとPM2.5は関係あるのでしょうか？」でした。あなたが今持っている「Q」から読み始めてみませんか？きっと私と同じように、興味深く読み進むことができることでしょう。

表紙カバーの最後には、こんな言葉がありました。「知らなかったでは済まされない…」。さりげない一言であるが故に、私の心に残りました。

(気象庁予報部 中務信一)